

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成24年度病害虫防除情報第8号

トビイロウンカ及びセジロウンカの発生状況についてお知らせします。
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

**トビイロウンカとセジロウンカの発生量が多くなっています。
今後の発生状況に注意し、適期防除に努めましょう。**

1. 作物名 普通期水稻

2. 病害虫名 トビイロウンカ、セジロウンカ

3. 発生状況

(1) トビイロウンカ

7月末の巡回調査における発生面積率は30.0%と8年間で2番目に高く、株当たり虫数は0.02頭と8年間で3番目に多い。

6月第6半旬から7月第1半旬にかけてまとまった飛来が確認されており、防除情報第7号で示した防除適期(7月第4~5半旬)後も生息密度は高い状況である。

(2) セジロウンカ

7月末の巡回調査における発生面積率は100%と8年間で1番高い(H18、H19、H22も100%)。20回振りのすくい取り調査では155.48頭と8年間で1番多く、調査地点40ほ場のうち2ほ場で甚発生、4ほ場で多発生となっている。また、飼料用稲の一部ほ場では坪枯れや株の黄化症状が確認されている(別紙:写真を参照)。

7月第1半旬に都城市の予察灯で多飛来が確認されており、防除情報第7号を公表後も生息密度は高い状況である。

4. 防除上の注意

(1) トビイロウンカ

ア 7月3日に飛来したトビイロウンカの第1世代(飛来次世代)が成虫となり、8月上中旬にかけて第2世代幼虫が出現する。第2世代幼虫の防除適期は8月第3~5半旬と予想されるので、発生状況を確認して防除を行う(別紙:トビイロウンカの発生世代予測を参照)。

イ 本虫は株元に生息し、低密度であっても、その後の増殖率が高く坪枯れを引き起こすので、薬剤は株元に十分到達するよう散布する。

ウ 気象的な要因等で無人ヘリ防除や個人防除ができなかったほ場については、ほ場内で株元を確認し、生息密度が高い場合は即時に防除を行う。また、無人ヘリ防除を実施したほ場でも、発生状況に応じて追加防除を行う。

エ 鹿児島地方气象台が発表した向こう1ヶ月の気温(7月28日~8月27日)は、平年より高い確率40%と予想されていることから、今後世代交代が早まり、短期間で増加するおそれがある。

(2) セジロウカ

ア 本虫は南方黒すじ萎縮病（仮称）のウイルスを媒介する。今年の本ウイルスの保毒虫率は低く、発生を確認していないが、本虫の生息密度が高いことから、今後の発生が懸念される。このため、発生の多いほ場では速やかに防除を行うとともに、次回のトビイロウカの防除適期に併せて防除を行う。

イ 飼料用稲（インディカ種）においては、本虫に対する抵抗性が低く、本虫の加害による坪枯れも確認されていることから、「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」（平成23年1月）及び「飼料として使用する粳米への農薬の使用について」（平成21年4月20日付け21消安第658号、21生畜第223号関係課長通知、平成23年11月17日一部改正）、「飼料の有害物質の指導基準」（昭和63年10月14日付け63畜B第2050号畜産局長通達、平成24年4月9日一部改正）に沿って、適期防除に努める。

5. その他

(1) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

(2) 6月1日から8月31日は、農薬危被害防止運動月間です。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危被害防止に努めましょう。

連絡先

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 斎藤

:0985-73-6670 Fax:0985-73-2127

ホームページ: <http://www.jpnn.ne.jp/miyazaki>

E-mail: byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

(別紙 1)



写真 1 . セジロウンカにより黄変した飼料用稲ほ場



写真 2 . セジロウンカにより坪枯れした飼料用稲ほ場

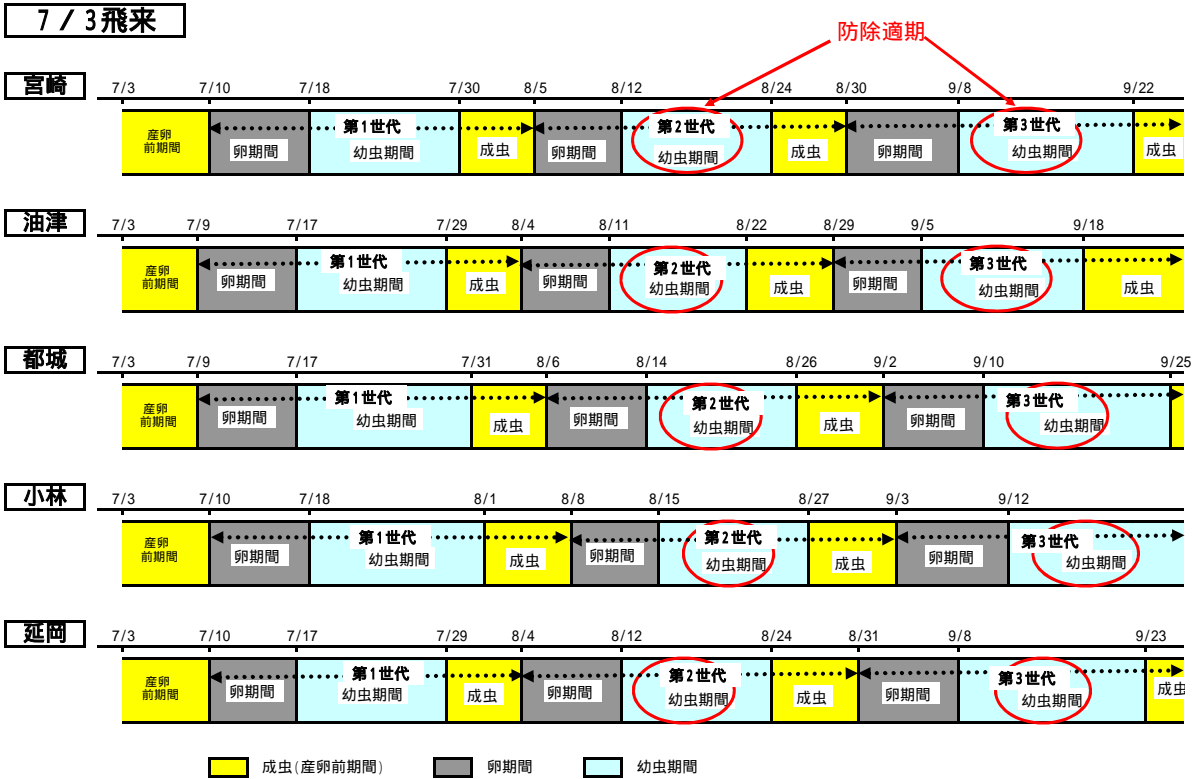


写真3、4．飼料用稲の茎葉に群がるセジロウンカ

(別紙2)

H24 トビロウカの発生世代予測(H24.7.31時点)

発生世代予測の飛来日は県内におけるトビロウカの主要飛来日。気温は7月31日までは本年値、8月1日以降は各地域の平年値を参考にした。なお、実際の世代交代は今後の気温の推移により異なる。



各発生世代別の防除適期は次のように予測されます

地域	飛来時期	第2世代の防除適期	第3世代の防除適期
宮崎	7月3日	8月13日 ~ 8月21日	9月9日 ~ 9月18日
油津	7月3日	8月12日 ~ 8月19日	9月7日 ~ 9月15日
都城	7月3日	8月15日 ~ 8月22日	9月12日 ~ 9月20日
小林	7月3日	8月17日 ~ 8月24日	9月14日 ~ 9月23日
延岡	7月3日	8月13日 ~ 8月21日	9月10日 ~ 9月18日

各世代発生始期予測

世代	Stage	地区別発生始期					
		宮崎	油津	都城	小林	延岡	
初期侵入世代	成虫	7月3日	7月3日	7月3日	7月3日	7月3日	
	第1世代	卵	7月10日	7月9日	7月9日	7月10日	7月10日
		幼虫	7月18日	7月17日	7月17日	7月18日	7月17日
第2世代	成虫	7月30日	7月29日	7月31日	8月1日	7月29日	
	第2世代	卵	8月5日	8月4日	8月6日	8月8日	8月4日
		幼虫	8月12日	8月11日	8月14日	8月15日	8月12日
第3世代	成虫	8月24日	8月22日	8月26日	8月27日	8月24日	
	第3世代	卵	8月30日	8月29日	9月2日	9月3日	8月31日
		幼虫	9月8日	9月5日	9月10日	9月12日	9月8日
	成虫	9月22日	9月18日	9月25日	9月27日	9月23日	

発生世代予測は「有効積算温度による海外飛来性害虫の発生予測支援システムVer. 2.12(Copyright 2009 S.TERAMOTO)」より算出。